

タイヤ踏み付け基台製作

JA1WOB 齋藤 章

車による移動運用の為に、JM1GUS 清酒 OM 製作のタイヤの踏み付け基台を 20 年余り使用していました。

モービルの入替時に伴い長年使用していたタイヤ踏み付け基台が車のラゲージスペースを考えると、手狭になるので処分しました。

しかし、モービルにリグやアンテナを設置するとやはり移動用のアンテナが設置出来るタイヤ踏みつけ基台が欲しくなりました。

ネットで「踏み立て君」などの完成品を検索している中で、自作の踏み付け基台もネット内で紹介されていました、そこで自作してみたくなりました。

建設用の足場パイプベースで製作した物が、コンパクトで安価なので早速、瑞穂町のジョイフル本田に材料を仕入れに行きました。

足場ベースの高さが 150mm 程と、少し短いので足場パイプをジョイント用に一番短いものを探すと、600mm のものがありました。これでは少し長めだし加工するには、手間なので、500mm のエンビパイプにする事にしました。

次に、足場ベースを固定する、コ形チャンネルの 900mm を 35mm に 2 個カットして貫き組み立て用のボルトとナットを購入して材料の準備ができました。



組み立ては 30 分位で終了しました。

何時も使用する伸縮ポールを差し込んでみると、少し隙間があるのでグラつきますが、思った以上にしっかりしていました。足場ベースに固定したコ形チャンネルの先に補強用のコ形チャンネルを取る付ける為鉄のノコギリでゴリゴリとカットして更に補強しました。



実際に 50MHz の 4 エレ HB9CV を取り付けても安定する事を目標に、補強用パイプをエンビのパイプを加工しました。固定ベースとエンビパイプの隙間にテンション掛かるように、エンビパイプをカットし輪切りにして固定しました。エンビパイプを取り付けるとガタが無くなりました。



次に、移動用の伸縮ポールを差込むと、エンビパイプ上部にガタ付きがあるので、6mm のボルトを両側から止められる様に穴を開けてナットを接着剤で止める事にしました。



ドリルとリーマで穴を開けた後六角のナットが入る様に、ヤスリでゴシゴシやって取付けましたが、これが結構大変で、一時的に右手がツツてしまい動かなくなりました。やっぱり、年かな！！ やっと、踏みつけ基台が完成して車に取付けました。

まだ、実践運用でないので、駐車場で 430MHz の 10 エレを取付けてみました。

固定部分が塩ビのパイプなのでこしふら付きはありますが、大風が無い限り大丈夫そうです、いざとなればステーで補強すれば大丈夫でしょう。

材料費は、以下の様に ¥ 2140 でした。

コ形チャネル	840
ボルトナット 10ヶ	240
カット代	400
足場パイプベース	400
エンビパイプ 500m	260

計 2140

タイヤに踏みつけた状態です



430Mhz10 エレを取付けた状態



終わり